

評価表のまとめと改善目標

『サポートハウス心愛学童』

1. 工夫している点

令和3年度も昨年度に引き続き、コロナウイルスによる緊急事態宣言が発令された期間もあり、制限のある中での活動が続きました。感染対策も継続して取り組み、日頃から体調管理や消毒作業を徹底して行いました。限られた活動スペースの中で、密にならない様、部屋を分散する等の対応をして活動しました。

保護者会や、親子イベントも開催することが出来ず、保護者の皆さんへお子さんの活動の様子を見て頂く機会がない為、月1回の学童日より、季節カード等を取り入れ、写真を多く掲載するようにしました。動画撮影も少しずつ取り組み、面談や送迎時に保護者に見て頂きました。

2. 改善目標

感染予防対策を継続し、今後も保護者が安心してお子さんを預けられる環境づくりに取り組んでいきます。

お子さんが余暇を楽しく充実して過ごす。また、将来を見据えた、社会や家庭内での役割づくりができる様なプログラム作りをしていく必要があると考えます。職場内研修や、講習会などに積極的に参加し、職員のスキルアップを図っていきます。保護者との面談回数を増やし、お子さんの現状の課題や目標を定期的に把握することで、保護者との共通理解を図っていきます。

『限られた生活様式の中での、新たな活動プログラムの実践をする』
『保護者との連携・共通理解を様々なツールを用いて構築をする。』